

■講評

最優秀賞 『 歓声の上に咲く 』高橋 維杜さん（東京都豊島区）

桜川から見上げる大勢の観客と花火の迫力が一体となり、土浦の花火大会らしさ、撮影者が楽しんでいることまでも伝わってくる作品です。川も橋も入れた構図の完成度が高く、大会のスケール感、花火の存在感がよく表現されています。会場の雰囲気表現するためにロケハンに時間をかけたとのことで、その意図が見事に写真に表れていますね。初参加で最優秀受賞、おめでとうございます！

優秀賞 『 桜色の街 』菊池 健一さん（東京都世田谷区）

桜町と花火を組み合わせた情報量のある作品です。当日は何度も撮影場所を変更したとのことで、諦めずに動いて撮影し続けたことで、思いがけない瞬間が撮れたのでしょうね。車のライトやネオンを取り込みながら撮影したことで、繁華街と花火の両方が主役になった、非常に面白い作品になりました。

優秀賞 『 夜空を飾る花束 』中村 廣勝さん（埼玉県越谷市）

立ち並ぶ屋台の灯りや花火に映し出された人々のシルエットが、大きな美しい花火のアクセントになっています。千輪など色の多い花火がよく表現されており、夜空の色も青みがかって幻想的です。土浦の会場ならではの空気感がつたわる作品です。

優秀賞 『 紅色のシャワー 』八田 和香さん（千葉県松戸市）

夜空いっぱいに広がる赤・ピンクの表現が鮮やかで、花火そのものの美しさを的確に映しました。露出やタイミングが適切で、降り注ぐような光の軌跡がとても繊細に表現されています。明暗もあり、きれいな花火写真で、個人的にとっても好きな作品でした。

入 選 『 我が子たちの晴れ姿 』上野 和之さん（富山県富山市）

栈敷席から見える花火師たちを切り抜いた一枚。火柱のような花火と煙の勢いと、それをそっと見上げる小さな背中との対比を、あたたかな眼差しで切り取りました。花火師の気持ちを代弁したようなタイトルも良いですね。

入 選 『心が踊る』武田 浩さん（宮城県富谷市）

会場を入れた構図から、タイトルの通り、花火大会が始まる高揚感が伝わってきます。オープニング花火ならではの、トワイライトがかすかに感じられるのもいいですね。

入 選 『満天の星』西岡 幸次 さん（京都府久世郡久御山町）

闇夜の中で光り、また消えていく青い花火の幻想的な世界が、的確な露出でしっかりと表現されています。夜空との明暗もあり、美しい写真ですね。野村花火の独特のブルーの花火だ！ と一目でわかる、すてきな写真です。

入 選 『灯火が染めた世界』福島 孝典さん（徳島県徳島市）

花火が空にも水面に映り込み、画面を花火と残像で埋め尽くすという幻想的な一枚で、構図も秀逸です。前日の大雨を知り、現場を活かした写真を撮るべく、長靴持参で、この撮影場所を見つけたとのこと。事前の準備とひらめきに脱帽です。

入 選 『月夜の化かしあい』三井 慎太郎さん（千葉県流山市）

撮影するのが難しい型物の花火ですが、わずかなチャンスを見事に捉えました。月も入れたことで、花火に合ったコミカルなタイトルと相まって、良いですね。

佳 作 『天空の調べ』石田 亜希さん（宮城県仙台市）

低感度フィルムで撮影した作品。光の点滅が流れていくさまや明暗は、デジタルカメラの写真とは一線を画し、本当に美しいです。大胆な構図も見事で、画面全体に躍動感があり、花火の迫力が存分に伝わります。

佳 作 『紅』坂本 純一さん（埼玉県鴻巣市）

的確な露出で、紅系のスターマインの輝きを見事に捉えました。花火の重なりも力強さがある、良い表現だと思いました。

佳 作 『 変化球 』 滝本 光晴さん（茨城県土浦市）

尺玉の光の線と漆黒の夜空とのコントラストが印象的です。この花火はとても大きかったのですが、そのシンプルでダイナミックな輝きを、かなり引いた場所からうまく捉えました。

佳 作 『 夜空の紅葉 』 八田 淳さん（千葉県松戸市）

撮影場所と逆風に苦戦したとのことですが、花火が煙に映り込む面白い写真を撮ることができました。ホワイトバランスも適切で、花火に染まる夜空がよく表現されています。

佳 作 『 紫陽花のココロ、七変化 』 古川 靖史さん（埼玉県朝霞市）

今年の響屋の花火を楽しみに撮影されたとのこと。画面から、この花火が紫や緑の光で紫陽花を表現したことがよく伝わってきます。花火で写実的な表現ができることに改めて驚くとともに、花火師の意図をしっかりと写真で表現できていることが素晴らしいです。

佳 作 『 晩秋の焰 』 帆苺 翔さん（長野県松本市）

想定外のハプニングでも撮影に果敢に挑戦されたとのこと。現場でできることを工夫して撮ったのかなと推察します。タイトルの付け方が良かったので、やや甘い画面から、かえって儚さを感じられました。

佳 作 『 あふれる共演 』 丸森 勝造さん（茨城県土浦市）

街のビルをあえて前景にしたことで、タイトル通りの面白さが増しました。撮影場所も当日の気象条件をよく調べて、決めたとのこと。露出時間やプリントにも工夫が見られ、写真へのこだわりが感じられます。

佳 作 『 光のカーニバル 』 三上 華奈さん（茨城県土浦市）

花火のダイナミックな動きが画面全体に広がり躍動感を感じさせる写真です。ホワイトバランスも適切で、意図した花火の色をしっかりと出すことができました。

佳 作 『 夜空に弾けて 』 三和田 恵さん (東京都府中市)

青と白の花火の光の軌跡を適切な露出でしっかりと浮かび上がらせました。右側に少し残る煙も、当日のならではの写真となり、少し青みがかかった色味と相まって幻想的な作品になりました。

佳 作 『 水都に咲いた光景 』 山口 弘さん (埼玉県比企郡小山町)

霞ヶ浦越しに街の夜景を入れて撮影したことで、土浦の街の空気感も伝わってくる写真です。夜空がほんのりと明るいのもきれいですね。